



# 喜多 祭

第二一五号

## 初雪と松と天神さま

天神さまといえ梅。これは現在では多くの方に  
知れ渡っている事ではありますが、実は鎌倉時代  
までは天神さまといえ「松」でした。

天神さまの総本社である京都の北野天満宮に  
伝わる『北野天神縁起絵巻 建久本』等によれば、  
菅原道真公が薨去されて四十三、四年後に、天神  
さまとなられた道真公から、「京都北野の右近の  
馬場に祠を結ぶよう」との御託宣があり、その「し  
るし」として、一夜にして千本の松が生えたとい  
う伝説があります。そこから天神さまの第一の御  
神木は松とされています。

実は当宮にも同様の七本松の伝説があり、こう  
した松の奇瑞は、天神さまをお祀りする神社の中  
でも、特に古社に伝わる特徴の一つといえます。  
ちなみに、天神さまはその年の初雪の日に、松  
の木に御降臨になられ詩を詠まれるという「影向  
の松(ようこうのまつ)」という伝説もあります。現在  
も京都の北野天満宮では、初雪の日に、一の鳥居  
近くの松の木の下で、詩を詠む為の文房四宝(筆墨  
硯紙)をお供えて、天神さまの御降臨を寿ぐ神事  
が執り行われます。(今年は一月二十五日に斎行されました)

なぜ初雪の日なのかというと、単に雪景を愛で  
ての事かもしれませんが、一説に、雪という漢字  
は、雨かんむりに、掃の字のヨと書きます。これ  
は雪が大気中のチリやホコリなどを全て地上に  
落として、空気をキレイにするところから付けら  
れたもので、そこから、悪しきものを掃き清める  
「そぞぐ」の意味で、悪意を雪ぐ天神さまの御神  
徳を慕っての事ではないかとも謂われています。  
室町時代以降は、天神さまの御好みみであられた  
梅の花が天神さまの代名詞となりましたが、今で  
も雪の日は天神さまが松の木の木の上からご覧にな  
られているのもしれません。

## 茶種守の授与

本年も天神さまと茶屋町に縁深い、菜の花に  
因んだ、イライラ封じの御守、「茶種守」を二月  
二十五日から四月上旬までの期間限定で授与い  
たします。荒む心を宥め、気持ちを整える事  
を祈念した開運の御守です。茶屋町の御旅社で  
のみ授与致します。

※土日十三時〜十七時であれば確実に授与ご対応可能です

## 厄年の御祈禱

当宮では厄年の厄除け祈禱を受け付けております。  
左表にもあります通り、それぞれ厄年がございます  
が、特に数え年の男性四十二才(昭和五十七年生)、女性  
三十三才(平成三年生)の本厄の方は、大きな厄年とな  
ります。  
厄除け祈禱はそういった年回りに、災厄が訪れない  
ようにと祈る御祈禱で、年中お受付してはいますが、節  
前にお受けになれるのが吉とされています。  
当神社での御祈禱はご予約制ですので、事前にお電話  
かメール等でご予約下さい。(初穂料五千元)

御本社(神山町)〓〇六一六三六一―二八八七  
御旅社(茶屋町)〓〇六一六三七一一一五八六

男 性		
前厄	本厄	後厄
平成 12年生(男) 2.4歳(小厄)	平成 11年生(男) 2.5歳(中厄)	平成 10年生(男) 2.6歳(小厄)
昭和 58年生(女) 4.1歳(中厄)	昭和 57年生(女) 4.2歳(大厄)	昭和 56年生(男) 4.3歳(中厄)
昭和 39年生(男) 6.0歳(小厄)	昭和 38年生(男) 6.1歳(中厄)	昭和 37年生(男) 6.2歳(小厄)
背景が紫色は大厄、黄色は中厄、白色は小厄です。なお記載の年齢は数え年です。		

女 性		
前厄	本厄	後厄
平成 18年生(女) 1.8歳(小厄)	平成 17年生(男) 1.9歳(小厄)	平成 16年生(中) 2.0歳(小厄)
平成 4年生(中) 3.2歳(中厄)	平成 3年生(未) 3.3歳(大厄)	平成 2年生(午) 3.4歳(中厄)
昭和 63年生(男) 3.6歳(小厄)	昭和 62年生(男) 3.7歳(中厄)	昭和 61年生(男) 3.8歳(小厄)
昭和 39年生(男) 6.0歳(小厄)	昭和 38年生(男) 6.1歳(中厄)	昭和 37年生(男) 6.2歳(小厄)

## 今月の暦

【御旅社授与所(茶屋町) 御朱印平日受付日】  
二月二十一日(火) 十三時〜十七時の予定

- 【祭祀】 節分祭(三日)：立春前日。旧暦のお正月頃。鬼やらい  
祈年祭(十五日)：今年の豊穰祈願。神宮では十七日  
梅花祭(廿五日)：菅原道真公の御命日
- 【節気】 立春(四日)：冬が極まり春の気配が立つ頃。極寒期  
雨水(十九日)：雪が雨に変わる頃。実際は積雪真盛り
- 【雑節】 初午(五日)：お稲荷さんの御縁日。商売繁盛の祈願日
- 【大安】 二月五日、十一日、十六日、廿二日、廿八日
- 【朔望】 満月(七日)、下弦(十五日)、朔月(廿二日)、上弦(廿九日)
- 【祝日】 建国記念の日(十一日)  
天皇誕生日(二十三日)
- 【旬】  
〔野菜〕 水菜、春菊、菜の花、大根、ネギ、ふきのとう  
〔果物〕 イチゴ(温室)、柑橘類、キウイ、リンゴ  
〔魚介類〕 フグ、サワラ、ワカサギ、ホタルイカ  
〔その他〕 梅花、菜の花、福寿草、海苔

## 網敷天神社 SNS、地図サイト

Twitter

Facebook

当宮地図 Google MAP

### 社報「喜多塾」

毎月一日発行(一月のみ元日に特別号、十五日に一月号を発行)

編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)  
白江 秀知